

ほちほちいか

2021年 9月27日
桜井谷小学校
4年図工通信 第6号
発行者：

〈きうち トントソ ~2nd stage~

1学期から取り組み始めた「コリントゲーム」。枠棒へは絵の具で色付けをし、土台の板へ貼り付けます。そしてついに、子どもたちが楽しみにしていた釘打ちタイムが到来！金槌の使い方を確認し、いざ釘打ち！子どもたちはスムーズに釘を手に取り、音消しタオルのご準備のおかげでなるべく耳への負担を減らしながら釘打ちすることができました。（それでもやっぱり約30人のきうち音は大きい…）

今回の目標は、

- ①自分の指を打って怪我をしないこと（安全面）
- ②釘を真っすぐに打ち込むこと（技術面）
- ③コリントゲームで楽しく遊べる釘の配置を考えること（工夫面）

思うように釘が打ち込めず板の裏に釘が飛び出してしまったり、釘の頭の部分が曲がってしまったりそれぞれに苦戦していましたが、慣れてくると大工さんのように着々と釘を手に取り配置を考えて打ち込んでいく姿が増えてきました。得点を描いた部分にだけ釘を打っても、コリントゲームを楽しむ上では物足りません。通り道にビー玉を弾かせる釘を打ったり、高得点のエリアの付近に、得点を取りにくくする釘を打ったりすることで、「入りそうで入らな

い！」といったわくわく感が増すはずですよ。

実際にビー玉を弾かせて進み方や転がり方を確認しながら、よりよいコース作りをしようとそれぞれに工夫することができました。

枠棒はボンドで貼りつけたのですが、ニスを塗っていることもあり取れやすい子もいました。その問題を解決してくれる名案を出してくれた子が！「釘を使って、枠棒を板に打ち込んだらええやん！！」「ほんまや〜！！」つぶやきのおかげで、取れやすかった枠棒が板にきちんと固定されました。さすが、遊びの達人の子どもたち！素敵なアイデアをありがとう〜！！

家庭に持ち帰ったら、ぜひ一緒に遊んでみてくださいね。
タオルや軍手の準備のご協力ありがとうございました。



次に取り組む作品は「木版画」です。彫刻刀を使って木の板を彫っていきます。次の作品も怪我をしやすい道具を使うので安全第一で楽しく活動できればいいなあと思います。